

IoT市場取組み本格化

クアルコム

米アローと提携 多様な産業に拡販

クアルコムはIoT市場への取り組みを本格化する。多種多様な産業に関わるIoT分野への拡販を目指し、米アローエレクトロニクスと提携。モバイル機器市場を席巻した高性能・低消費電力のデバイス技術を生かし、新規市場での成長を目指す。

クアルコムは従来、代り直接販売が最適だった販売代理店を通じて販売を介さない直接販売が、IoT分野では全く異なる。モバイル機器向に合わせた対応が必要とな

り、モバイル機器向け「Snapdragon」を供給してき

た。モバイル機器市場においては、販売数量や製品ライフサイクルの面から、IoT市場で求められるニーズに対応するため、

販売代理店を通じて販売することを決めた。

クアルコムCDMAテックノロジーズの須永順子

副社長は「IoTおよびエンベデッド向けに製品を供給するためには、自社だけでなく課題が多

トデバイスレビューなどあるチップワンストップのサイトで1個から購入でき、即日出荷する。必要な個数を短納期・低コストで需要に合わせた小口購入が可能となる。

Snapdragon

410Eを搭載した評価ボード「Dragonboard 410c」は既に同サイトで販売している。試作機開発から量産までの一貫したサポートを通じて、多様なIoT製品開発を支える。

アローエレクトロニク

スジャパンの高乗正行社長は「Snapdragonを1個から購入できる翌日に届くというのは画期的なこと。顧客の開発を支えるパートナー体制も構築しており、ハード・ソフトウェア両面からサポートする」と話す。

小口販売は14日からチップワンストップのサイトで開始。AUJでは量産対応や両製品の技術サポートを実施する。

幅広い産業に提供していく」と話す。

アローエレクト

ロニクス社とのグローバル販売面

販売はインターネットとフィールドセールス両面

で展開。インターネッ

トで開始。AUJでは量産対応や両製品の技術サポートを実施する。

トで開始。AUJでは量産対応や両製品の技術サポートを実施する。



アローを通じての販売について説明する須永副社長



Dragon Board 410cを紹介する高乗社長

幅広い産業に提供していく」と話す。

アローエレクト

ロニクス社とのグローバル販売面

販売はインターネットとフィールドセールス両面

で展開。インターネッ

トで開始。AUJでは量産対応や両製品の技術サポートを実施する。

トで開始。AUJでは量産対応や両製品の技術サポートを実施する。